

02 令和二年 新年のごあいさつ
04 市長コラム
05 目次
イベント情報
06 行政情報
08 地域の子どもは地域で育てる！
12 新しい小学校が誕生します
国民年金のあれこれ
13 ファミリー・サポートセンター事業
14 げんきな親子
16 としょもっと
18 アンケートに答えて三原市へ行こう！
21 ところが“ほっ”とする標語入賞作品発表
国保だより
22 健康いいカラダ
23 いきいき介護
24 HOTな話題
26 異文化と暮らす
27 人輝く
28 民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選
30 歴史紀行
31 消防
32 トピックス／募集
34 およこび・おくやみ
35 1月の相談
36 安芸高田のアイドル



（今月の表紙）
毎年、清神社で行われる
年越し神楽の様子。

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎お太助フォン 42-2111 (代)
八千代支所 ☎お太助フォン 52-2111
美土里支所 ☎お太助フォン 54-0311
高宮支所 ☎お太助フォン 57-0311
甲田支所 ☎お太助フォン 45-4111
向原支所 ☎お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30～17:15
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市
ホームページ

http://www.akitakata.jp



1月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

1/5日 消防出初式

☎安芸高田消防ヘリポート(吉田町吉田)
☎10時～
☎危機管理課消防団係
☎お太助フォン42-5625

消防による新年の恒例行事。徒歩部隊・車両部隊による分列行進や表彰・感謝状の贈呈、迫力満点の一斉放水が行われます。



1/10金 サンフレッチェ広島 必勝祈願祭

☎清神社(吉田町吉田) ☎11時～
☎商工観光課観光振興係
☎お太助フォン47-4024

厳かな雰囲気の中、サンフレッチェ広島の手・監督や関係者が今シーズンの活躍を祈願します。 ※スケジュールの都合により日程が変更となる場合があります。



1/12日 令和元年度 安芸高田市成人式

☎クリスタルアージョ(吉田町吉田)
☎9時30分～12時
☎生涯学習課社会教育係
☎お太助フォン42-0054

台風の影響で延期となっていた成人式(平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの方が対象)を開催します。一般参列もできますので、みなさんで新成人をお祝いしましょう。



1/18土 青少年の声を聴く会

☎向原生涯学習センターみらい(向原町坂)
☎13時～16時
☎青少年育成安芸高田市民会議向原町支部
向原支所 ☎お太助フォン46-3111

向原こぼと園、向原小学校、向原中学校、向原高校の園児・児童・生徒による意見発表や活動発表を行います。



1/26日 文化財防火デー 防火訓練

☎横田八幡神社(美土里町横田)
☎10時～
☎消防署警防課 ☎お太助フォン42-3952

毎年一つの文化財を選定し、「文化財防火デー」に合わせて消防署、消防団、地域の団体が協力して行う防火訓練。今年は横田八幡神社で実施します。



地域おこし協力隊と市の活性化

現在活動中の地域おこし協力隊のみなさん



安芸高田市観光協会
中村健太郎さん 田中快斗さん
商工観光課 地方創生推進課
沖田政幸さん 竹原真二さん 青山直樹さん

国が「地域おこし協力隊」の制度を発足して10年が経過しました。地域おこし協力隊とは、田舎に魅力を感じ、また、地域に貢献したいと感じている人たちが、自治体から委嘱を受けて、一定期間(最長3年)観光や農業などの活性化を市民のみなさまと共に取り組みながら地域への定住・定着を促進する制度です。平成21年の制度発足以降、取組自治体・隊員数は右肩上がりに推移し、平成21年度は31自治体・89名だったものが、平成30年度には1061自治体・5530名

となりました。地域おこし協力隊の活動は、ひきこもり状態になっている若者の支援事業や地産地消レストランのシェフ育成事業など様々な分野に広がりをみせており、国は、地域おこし協力隊のさらなる拡充を目指し、令和6年度には隊員数を8千名にすることを目標としています。本市では、平成27年4月から「地域おこし協力隊」の取り組みを開始し、14名(うち5名は任期中)の隊員に協力いただき、市の活性化に取り組んでまいりました。

●これまでの地域おこし協力隊の活動内容

- ・農作物の産地化、商品開発事業
- ・有害鳥獣対策事業
- ・地域情報の発信、観光振興事業
- ・移住定住促進事業(空き家コンシェルジュ)
- ・移住、交流定住促進事業
- ・資源循環と農産物の高付加価値化推進事業
- ・木の駅プロジェクト事業

任期を終えた9名は、地域おこし協力隊としての経験を生かし、自営業(カフェ経営)や特産物の開発など引き続き地域の活性化に貢献していただいています。任期終了後、地域に定住する隊員の割合が全国的に60%程度と言われる中、本市では100%(家族を含めると19名)であり、これは非常に大きな成果であります。なお、任期中の隊員については、今春開業予定の道の駅「三矢の里あきたかた」振興事業や令和3年度にプロジェクトが本格始動する田んぼアート事業、市内の農業法人で農業を学びながらの情報発信など様々な分野で活動していただいています。地方創生について議論する際、「よそ者(外部の視点)・若者(若い想像力)・ばか者(常識にとらわれず新しいことへの挑戦)」という言葉をよく耳にしますが、市としても、今後もそのような魅力的な人材を獲得し、ソサエティ5・0等を活用した新たな分野へ挑戦したいと考えております。地域おこし協力隊を一時限的な人口移動ではなく、持続可能な地域活性化につながるよう市職員と隊員が一丸となって取り組んでまいります。